

日本環境変異原学会・哺乳動物試験研究会(JEMS・MMS 研究会) 会則

1 名称

日本環境変異原学会 哺乳動物試験研究会

The Japanese Environmental Mutagen Society・Mammalian Mutagenicity Study Group
(略称) JEMS・MMS 研究会

2 目的

哺乳動物を用いる各種変異原性試験について検討し、この分野の研究の発展に努めると共にヒトへの安全性評価に寄与する。

3 活動

定例研究会を年2回行なう。1回はJEMS大会開催の時とし、会の形式は大会の組織委員会と協議する。

定例研究会

- a) Original Data の発表および討議
- b) 各種の情報交換
- c) その他の協議事項

その他の活動

- a) 特定テーマについての共同研究
- b) 会員相互の研鑽のための研修会
- c) 会員または非会員対象の講習会・ワークショップ
- d) Standard Protocol の検討
- e) Mutation Research 誌の賛助団体として、投稿に便宜を図る
- f) MMS News 等の発行

4 一般会員

原則としてJEMS会員で、この研究会の目的に賛同する有志

5 賛助会員

MMS研究会の活動を理解し、研究会に経済的援助を行ない得る、団体または個人

賛助会員は別記に示す特典を受けることが出来る

6 運営

- ・会長1名、庶務幹事1名、会計幹事1名を含む若干名
(目安として会員数の5%程度)の幹事をおく。
- ・会長は幹事会により選出される。幹事は一般会員の選挙によって選ぶ。

選挙方法については別記に示す幹事選挙に関する覚え書きによる。

7. 年会費

一般会員は 3,000 円、賛助会員は 100,000 円を前納することとする
但し、海外留学等により長期間不在にする場合は事前に届け出ることに
より休会することができる。

付記

本会則は 1988 年 5 月 20 日より施行する。

1992 年 6 月 11 日、1992 年 7 月 17 日、1993 年 11 月 27 日、1995 年 11
月 22 日、1997 年 6 月 20 日、1998 年 11 月 23 日、1999 年 6 月 16 日
2000 年 11 月 14 日、2001 年 6 月 15 日、2002 年 1 月 1 日、
2003 年 6 月 13 日一部改正

本会の事務局を財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所・細胞毒性研究室
(秦野市落合 729-5) に置く

会長および幹事 (2003 年 6 月改選)

会 長：浅野哲秀

庶務幹事：山影康次

会計幹事：中嶋 圓

幹 事：田中憲穂、若田明裕、矢嶋信浩、林 真、浅野哲秀、山影康次
本間正充、森田 健、中嶋 圓、宇野芳文、浜田修一、兵庫 淳志
大山ワカ子、松元郷六、齋藤優子

別記 1

MMS 研究会賛助会員は：

1. 一般会員と同様に会の活動についての案内を受ける。
2. 会員情報誌等の発行の度に広告を掲載することが出来る。
3. MMS 研究会主催の会で、広告、宣伝活動を行なうことが出来る。

別記 2 会長・幹事選挙に関するおぼえがき (2000 年 9 月 1 日幹事会決定)

幹事選挙にあたり、会長は選挙管理委員若干名を委嘱し、選挙の管理
を担当させる

会長、幹事の任期は 2 年とする (選挙は隔年毎に行なう)

会長は幹事会において決定し、指名する

会長は庶務幹事および会計幹事を会員から委嘱する。また会長は必要に応じ会員の中より若干名の幹事を追加選任することができる

会長の再任は妨げない、また幹事は連続3選はできない。但し、庶務幹事および会計幹事はこの限りではない

任期中に会長が退任する場合には、幹事会で会長代行を決定する。その任期は残任期間とする

- ・ 幹事会は、MMS 研究会を活性化すべく積極的に活動する若手を登用することを心がけること